栃木市

文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS
平成21年度文化庁
「NPOによる文化財建造物活用モデル事業」

10.9[fri]17:00~
オープニングセレモニー
2009年度アカデミー受賞作2本立て前夜祭
つみきのいえ／おくりびと
会場／栃木高校講堂（登録有形文化財）
オープニング限定250名様プレミアム前売参加券
【大人～小学生共通】500円
オープニング前売参加券の販売は右記の1日見放題・参加券と同じ窓口です。

1日見放題・参加券 10/10・10/11
〈前売券〉大人：1000円 小学生：500円
当日券｜大人：1200円 小学生：600円 未就学児無料
◎前売参加券は、「福田屋百貨店栃木店3Fサービスセンター」「栃木県総合文化センタープレイガイド」にてお求めになれます。
福田屋百貨店栃木店3Fサービスセンター TEL0282-25-1111
栃木県総合文化センタープレイガイド TEL028-643-1013
●当日参加券は各上映会場受付にてお求めになれます。
（福田屋百貨店・栃木県総合文化センターでは当日販売はございません）
※1『MOVIE12 / UNICORN TOUR 2009 蘇える勤労 上映会＆トークイベント』への参加につきましては、**イープラスでの整理番号付き映画祭参加券ご購入の方より開場時優先入場**となります。あらかじめご了承ください。『イープラス http://eplus.jp/』

シンボルデザイン：宇都宮メディア・アーツ専門学校
高橋奈央弥・斎藤三千代

上映予定作品
※上映作品は都合により変更する場合がございます

ボランティアスタッフ募集!
○実行委員会スタッフ ○当日運営スタッフ

◎2009年アカデミー受賞作＆音楽映画特集

● つみきのいえ
第81回
米国アカデミー賞
短編アニメーション賞

© 2008映画「おくりびと」製作委員会
● おくりびと
第32回モントリオール映画祭
〈グランプリ〉
第81回アカデミー賞
〈外国語映画賞〉

© SMA
●MOVIE12 / UNICORN TOUR 2009蘇える勤労
ゲスト：ブラックボーダーズ
『蘇える勤労』の上映会&トークイベントに関してましては、右上の※1をご参照下さい。

© ノライヌフィルム
ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2009グランプリ受賞作品
プチョン国際ファンタスティック映画祭2009NETPAC賞受賞作品
● SR サイタマノラッパー
ゲスト：入江悠監督 SHO-GUNG
サイタマ県の片田舎で不器用にラッパーを目指す青年たちの、どこか哀しく、やがて可笑しな日々。
まだ誰も観たことのない映画史上初の、まったく新しいヒップホップ青春映画の傑作。

◎若手監督ショートムービー

© MIKIYA SANADA ／ VIPO
● Life Cycles
監督：真田幹也
「自分の心が篤っていくのは誰のせいだろうか?そんな時俺は考える。俺が50%、世の中が50%と」今や東京都内の駅前に必ずといっていいほどある放置自転車。世界でも類を見ないその台数に対策が懸念されている。主人公はそんな放置自転車を撤去する作業員。他人の自転車を断りもなく撤去する仕事は当然作業中のトラブルも絶えない。自分が悪いのか?世の中が悪いのか?男は自問し始める。仕事のストレスから、主人公の楽しみは夜中自転車で町を疾走する事に変わっていく。しかし荒んだ心の主人公に見えるものは荒んだ景色でしかない。「俺が50%、世の中が50%」ある夜、いつものように疾走中の男はまたある荒んだものを目にしてしまうが…。

© KATSUNORI SATO/VIPO
● trash words
監督：佐藤克則
大学の事務局員として働く24歳の尚美は、過去の職場で上司だった山本と"不倫"をしている。ある日、尚美は山本から自分の妻が妊娠したと告げられる。そして山本は尚美に、この関係を続けるのか終わらせるのかを迫るのだが、尚美はその場では何も答えられなかった。後日、尚美は美術学部に在籍する学生・秋生と知り合う。秋生は大学構内で話される携帯電話での会話を"盗聴"しており、尚美が"不倫"で悩んでいることも知っていた。秋生は"盗聴"で得たその弱みを武器に、尚美にある頼み事をしてくるのだが・・・。

© HIROYUKI NAKAO/VIPO
● LINE
監督：中尾浩之
なんとか貧乏生活から抜け出したい中年夫婦の節子と信吾。ビル清掃員の節子は、清掃先の会社の金庫から現金強盗を計画していた。深夜、誰もいなくなったのを見計らい、夫の信吾を事務所の窓から、金庫のある社長室へと送り込むのだったが…。二人に絶体絶命の危機が訪れる！海外での評価も高く、数々の受賞歴を誇る鬼才・中尾浩之監督が仕掛ける超一級の傑作エンタテインメント！

© MASAHIRO MURAMATSU/ VIPO
● けものがにげる
監督：村松正浩
海辺の町で父親と二人、実家暮らしの深志。世事に無頓着な深志にも、ついに結婚の機会が訪れた。婚約者の麻紀子を実家に招いた会食を計画する弟の光雄とその妻真琴。ところが深志はこの期に及んで躊躇していた。結婚後の生活について何も考えていない、わけではないのだが。光雄の紅焼蹄膀作りは着々と進み、麻紀子が駅に降り立ったという連絡が入った矢先、深志が密かに育んでいた非常に珍しい生物が逃走したことが判明する。

© 2009 VIPO
● 第三の肌
監督：和島香太郎
「贈物をするとは触れることであり、官能であるのだ。あなたはわたしが触れたものに触れるだろう。第三の肌がわたしたち二人を結びつけるのである」（「恋愛のディスクール・断章」ロラン・バルト、三好郁朗訳、みすず書房刊）。ホームレス・ピアニストの青年は、ある夜の悲惨な襲撃で自分のピアノを燃やされる。失意の青年に手を差し伸べる千香は、自分のピアノを青年に贈る。千香の住む廃トンネルに案内され、そこで長い間眠り続けてきたピアノに出会った青年は、指を自由に動かせない千香のために一緒に弾ける連弾曲を作曲し始める。

© 2008 VIPO
● UFO 食堂
監督：山口 智
UFOが数多く目撃されているという、とある田舎町。そんな怪しい町を出て、東京の大学へ行きたいと思っている女子高校生、上戸ユウには気掛かりがあった。それは実家で営んでいる食堂「UFO食堂」のこと。数年前、母が謎の失踪を遂げてからは、ユウが父を手伝っていた。普段は暇なこの食堂も『UFOが出たら半額サービス』のため、UFOが出現した日だけは繁盛するのだった。大学受験の日が近づいたある日、ユウは自分の代わりのアルバイトを募集することに。すると、そこに現れたアルバイト希望の女は、かつて姿を消した母だった…。

© 2008 VIPO
● BABIN
監督：平林 勇
森の中。下半身が地面に埋められた奇妙な男が1人。男はわけのわからない独り言を続ける。その前を偶然通りがかる子供。男に石を投げつけたりして遊ぶ子供に、男は憎しみをあらわにする。そんなある日、森にカミナリが落ち、身動きの取れない男に火の手が迫る。その炎を必死に消す子供。それは二人に心の変化を起こす。すっかり仲よくなった男と子供が楽しそうに遊んでいると、今度はチェーンソーを持った男が二人の前に立ちはだかる・・・。独特の世界観や生命観を背景に、悲しくも可笑しい不条理なドラマが、森という迷路を駆け巡る。

© 2008 VIPO
● 直下型の女
監督：タテナイケンタ
東北の片田舎。地震がほとんど起きない弥山町で、地震観測所の研究員をしている山本サトシは、増岡ミツ子と付き合っている。しかし、まともに地震の研究ができない現状に不満なサトシは、ミツ子の幼なじみでライバルの吉岡ユリから聞かされたアメリカの地震調査局に親戚がいるという話に飛びつき、ユリと一緒にアメリカへ留学することに。それを知ったミツ子は途方にくれるが、勤務先の同僚から、この地の地震を封じ込めているというナマズ石の言い伝えを聞かされ、サトシを引き止めるため、ミツ子はそのナマズ石を掘り起こすのだが・・・。

© 2009 VIPO
● 琥珀色のキラキラ
監督：中野量太
おかっぱ頭の涼子はちょっと内気な中学一年生。二年前に母を病気で亡くしてからはずっと父・省三との二人暮らし。毎日欠かさず仏壇に手を合わせる涼子、未だ母の死を引きずっている娘を省三は少し心配している。そんな藍沢家に三ヶ月前、突然、髪を頭の上でキュッと束ねた関西弁の道子さんがやって来た。月曜日と木曜日にだけ夕飯を作りに来る道子、道子が来ると必ず仏壇の扉を閉める涼子、二人をそっと見守る省三、家族のようで家族でない微妙な三人の琥珀色の物語。琥珀色、それは家族を繋ぐ温かいキラキラ・・・。

© 2009 VIPO
● くだん
監督：吉井和之
母の都合で田舎に引っ越してきた道世。新しい学校に行く途中、井戸を見つける。その井戸は「くだんの井戸」と呼ばれているものだった。「くだん」とは予言をして3日後に死んでしまうと云われる妖怪。学校にも新しい土地にもなじめない道世はそんな井戸に惹かれる。ある日、道世は井戸で「くだん」と名乗る老人と出会う。ただの老人としか思えない自称「くだん」の中井戸との不思議な交流。中井戸は道世が井戸に落ちることを予言し、その予言通り井戸に落っこちてしまう道世だったが…。

◎アニメ活弁・インディーズ映画

●活弁アニメ
『暴れん坊お姫様』
舞台は江戸。城を抜け出し、城下へ繰り出す徳川のお姫様『葵』。ひょんなことから葵は、謎の青年陰陽師『安倍貴之』と出会い、やがて二人は江戸の町を騒がす不思議な神隠し事件に巻き込まれていく…。事件の裏で私服を肥やす悪徳商人と悪代官、そして、その事件の裏には恐ろしい陰謀と、闇の陰陽術が仕組まれていた！悪者に姫の剣が冴え渡る!!痛快娯楽時代劇自主制作アニメーション『暴れん坊お姫様!!』ぜひ、御覧下さい!!

●東京学芸大学映画研究会作品
桜の森の満開の下 他3作品
坂口安吾の同名短編の映画化。終始幻想的な映像で坂口の不条理な世界を見事に表現。

●父 RIVAL 娘（ライバル）／活弁バージョン
巨大生物を撃退・駆除する自衛隊特殊部隊の隊長の父、巨大生物を保護する環境保護団体メンバーの娘。極限状態の父と娘が互いに譲れない信念をぶつけ合う究極のホームドラマ。アート＆スポーツ初のオリジナルアニメ。全国からの声優オーディション応募者200名の中から選ばれた福原千鶴が主人公"翼"役をナマで熱演。

●ブラックタイツ Oh! My Home Oh! My Family
憧れの女性隊員をモノにすべく、研究開発部長ヴァン博士に媚薬をせがむブラックタイツ39号。完成したばかりの試作品はしかし、事態を思わぬ方向へ…
宇都宮ケーブルテレビで放送中のブラックタイツをディレクターズカット版で特別上映。シュールな傑作ショートショートも同時上映。

◎往年の名作 今村昌平監督作品

© 日活株式会社
● にあんちゃん

© 日活株式会社
● にっぽん昆虫記

© 日活株式会社
● 神々の深き欲望

◎往年の名作リクエスト作品

Copyright© 1953 Paramount Pictures Corporation. All Rights Reserved.
TM, (R) & Copyright© 2003-2004 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.
● ローマの休日

● 雨に唄えば

◎那須少年記

© 随想社
● 那須少年記

◎石原裕次郎特集

© 日活株式会社
● 狂った果実

© 日活株式会社
● 太陽の季節

© 日活株式会社
● 嵐を呼ぶ男

◎子供たちと一緒に観る映画

©2002Turner Entertainment Co.A Time Warner Company.All rights reserved
● トムとジェリー
アカデミーコレクション

© 2008「ブタがいた教室」製作委員会
● ブタがいた教室

● ウォーリー
●16mm絵本〈アニメ〉

◎チェコアニメ特集
いぬの夢／おおいぬフィークの冒険／フルヴィーネクのサーカス／ミクリー／作家カレル・チャペック その生涯と時代／男の子?女の子?／電子頭脳おばあさん／頭

蔵の数々をミニシアターに変貌させた映画祭。
栃木・蔵の街かど映画祭3

http://kura-movie.jp
蔵の街かど 検索 >>> 映画祭の詳しい情報はHPをご覧下さい。

2009.10.9[fri]~10.11[sun]

オープニングセレモニー 10.9[fri]17:00~

■第3回栃木・蔵の街かど映画祭 開催日／2009年10月9日（金）オープニング、10日（土）、11日（日） ■主催／栃木・蔵の街かど映画祭実行委員会 後援／栃木市、栃木商工会議所、社団法人栃木市観光協会、朝日新聞宇都宮総局、読売新聞宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、NHK宇都宮放送局、社団法人栃木青年会議所 ■特別協賛／東武鉄道 ■協力／財団法人デジタルコンテンツ協会、株式会社ムービーマネジメントカンパニー、有限会社随想舎、株式会社イデッフ、栃木ケーブルテレビ、宇都宮ケーブルテレビ、マックス・エンデニアリング、宇都宮アート&スポーツ専門学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校、宇都宮大学馬術部、東京学芸大学映画研究会、佐野プレミアムイタリアン、道遊会、和菓子司和田屋、いそやま工房、島崎美和、平澤智子、栃木市商店会連合会、とちぎフィルム応援団、ネットワークとちぎ、栃木おやこ劇場、とちぎえ～ぞ～支援隊、栃木の例幣使街道を考える会、八重桜の会、元気ジャパン
■上映会場／栃木高校講堂、栃木市役所本館、栃木市役所別館、太田家見世蔵、旧鳥海漬物蔵、蔵の街観光館ホール、蔵の街観光館蔵座敷、油伝味噌、岡田記念館翁島 ■街中イベント／蔵の街乗馬倶楽部、忍者集団・前田組参上!、蔵の街を着物であるき隊in映画祭、着物古着マーケット、山車会館前蔵の街フードスクウェア、和菓子職人染谷典×陶芸家島田健一 ■協働イベント／オクトーバーフェストin蔵の街2009、第8回お蔵のお人形さん巡り、とちぎ蔵の街美術館チェコの絵本展 ■上映作品／40作品以上

〈お問い合わせ先〉栃木市役所商工観光課「栃木・蔵の街かど映画祭」担当☎0282-21-2543